

三條別院のご案内

三條別院に想う

三條別院の「顧客」とは

昨年もつと売れた本「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」通称「もしドラ」。オジサンには非常に面白いにくい表紙にも拘らず、読まれた方も多いと思います。

題名の通り、主人公の野球部マネージャー川島みなみは、勘違いにより、経営学の神といわれる「ドラッカー」の経営指南書「マネジメント」に出遭う。彼女は、弱小の野球部が甲子園出場をすべくマネジメント（経営）していくという内容の、痛快な青春小説である。

作中にはしばしば、ドラッカーの言葉が引用される。そして、主人公が次の言葉に基づき「野球部」の定義付けを行っていくのである。企業の目的と使命を定義するとき、出発点はひとつしかない。顧客である。



顧客によって事業は定義される。事業は、社名や定款や設立趣意書によってではなく、顧客が財やサービスを購入することにより満足させようとする欲求によって定義される。顧客を満足させることが、企業の使命であり目的である。

したがって、「われわれの事業は何か」との問いは、企業を外部すなわち顧客と市場の観点から見て、初めて答えることができる。

(ドラッカー)

作中では、その定義付けが功を奏し、野球部は快進撃を続けるのである。

さて、企業と寺院を同列に扱うことは乱暴であるのは承知の上、あえて問いたい。三條別院の「顧客」とは誰を指すのであろうか？教区内寺院？教区内門徒？別院周辺の住人・・・？

現在、三條別院は悩ましい立場にあるように感じる。教区と別院の関係の中、その独自性が十分に発揮できずにいるようにみえる。そんななか「別院の」顧客、そして、その欲求、を再定義することにより、立ち位置を確認できヒントとなるのではないか。

今年、以上のことを個人的テーマとし三條別

院の事業に関わらせていただきたい。怖いのは「顧客」が、何も求めなくなることだから。

(第十九組 長福寺 鳴澤 宏誓 氏)

○次回の「三條別院に想う」は、

松浦 武馬(三條別院 書記)が

執筆します

■御命日(二十八日)の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。

どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

なお、前日(二十七日)はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めをしております。

また、今月は「年頭会」と兼ねるため、座談会をお休みさせていただきますので、ご了承下さい。

【二月二十八日(月)】

午前十時 お勤め(御命日) 日中法要

正信偈 草四句目下

念仏讚 淘三

和讃 彌陀成佛のこのかたは

次第六首

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

鷺尾 幸雄 (三条別院 輪番)

◇二〇一一年 法話講師一覽

- 三月 有坂 次郎氏 (眞空学院第二期卒業生)
- 四月 渡邊 智龍氏 (第十八組 恩長寺)
- 五月 斎藤 恵康氏 (第二三組 廣泰寺)
- 六月 鳴澤 宏誓氏 (第十九組 長福寺)
- 七月 藤井 信彰氏 (第十四組 長樂寺)
- 八月 村山 まみ氏 (眞空学院第一期卒業生)
- 九月 井上 知法氏 (第十三組 願性寺)
- 十月 草間 朋哉氏 (第十二組 勝覺寺)
- 十一月 竹内 淳一氏 (三条教務所 主事)
- 十二月 関根 正隆氏 (第二三組 長徳寺)

■定例法話のご案内

もっと聞法できる場を、もっと別院に触れていただける場をと、本年三月より(試験的に三ヶ月)別院の新事業として、毎月十三日に「定例法話」をおこなうこととなりました。

- ◇期 日 毎月十三日
- ◇時間 午後一時三十分より 一時間程度
- ◇場所 三条別院 旧御堂
- ◇講師一覽
 - 三月 佐々木憲雄氏 (第十五組 光善寺)
 - 四月 猪飼 松子氏 (今朝白同朋の会代表)
 - 五月 藤吉 禅氏 (第十三組 廣深寺)

■春彼岸会のご案内

本年の春彼岸を左記の通り厳修いたします。皆様のご参詣をお待ちしております。

また、本年は、本山で御遠忌法要が厳修するため、従来、三日間(二昼夜法要)で勤めていたものを二日間(一昼夜法要)にさせていただきますので、ご了承願います。

尚、十九日(土)の正午におときをご用意いたしますので、ご希望の方は当院までご連絡下さい。

- ◇期 日 三月十八日(金)〜十九日(土)
- ◇法要時刻
 - 速夜法要(十八日)・午後一時三十分
 - 晨朝法要(十九日)・午前七時
 - 日中法要(〃)・午前十時

◇法話講師

- 速夜後 関根大丘氏(第二十組 松韻寺)
- 晨朝後 別院職員
- 日中後 鷺尾幸雄(三条別院 輪番)

■お誕生法要〜子ども奉仕団のご案内

「三条別院につどい 親鸞聖人・お釈迦様のお誕生会を通して 共に同朋として生きてあることに気づく」のテーマの下、本年も三条別院で子ども奉仕団を開催いたします。

子ども奉仕団を通して、自分自身を見つめてみませんか。「いのちの大切さ・本当の私」のことを皆で考える大切な場となるよう、皆で育て合うよう頑張っています。多くのご参加をお待ちしております。

◆会場 眞宗大谷派三条別院

◆日時 四月三日(日)〜四日(月)

※詳細は、案内チラシをご覧ください

■同朋会館に宿泊される方へお願い

同朋会館に宿泊される方は、同朋会館一階事務所にございます宿泊者帳に記帳していただき、シーツクリーニング代としまして、五〇〇円いただいております。

また、翌朝七時より本堂にて晨朝が勤まりますので、お参りいただきますようお願い致します。

■別院奉仕研修について

先達の篤き御懇念によって護持されてきました三条別院にお越しいただき、その歴史に触れていただくとともに、現代の様々な問題を抱える私たちが、眞宗門徒として親鸞聖人のみ教えに出遇うことを通じて、ともに語り合い、人間として生きる意味を尋ねていく場となることを願い、奉仕研修会を開いてみませんか。

○日程及び内容について、ご要望等ございましたらご相談承ります。

○奉仕研修会をお申し込みいただく方(団体へ、冥加金としまして左記のとおり頂きます。

◎冥加金

- ・日帰り 一、五〇〇円
- ・一泊二日 二、五〇〇円

◎食事代(昼・夕食は業者発注のため)

- ・朝食代 五〇〇円
- ・昼食代 一、〇〇〇円程度
- ・夕食代 一、三〇〇円程度